

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州の建物を木造化・木質化することで2050ゼロカーボンを実現する展示会
事業主体 (連絡先)	信州・絆でつくる優良住宅の会
事業区分	6 産業振興・雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	36,169,504円（うち支援金：5,000,000円）

事業内容

(供給側対象) WBS

令5年6月16日 建築士、施工者、建築主を対象に
建築工学、設計士、建築家等斯界の硕学9組(13名)により建築物
の木造、木質化への最新の知見の講演を実施。

並びに実物大モデルの展示を実施。

(一般ユーザー) わくわくフェア

木材、木質材料及び建材、設備品メーカー多数の高性能機器紹介
とともに、高耐久、省エネの高い建築物が脱炭素の推進に資する
ことをわかりやすく広報。



【 】

【目標・ねらい】

- ① 2050 ゼロカーボンへの取り組み
- ② 長野県産材の利用促進
- ③ ZEH、高耐震、減災まちづくり推進
- ④ 建築物木材利用促進（県産材利用）

※自己評価【 B 】

【理由】

WBSは初回から関心の高さがあり、成
果事例につなげたい。
リフォーム分野への対応強化が必要

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

引き続き建築物の木造化促進、ZEH住宅の促進、高耐震化、を通して減災まちづくりに貢献。
さらに今後は既存住宅の省エネ改修、耐震化改修の推進にも力を入れて、地域の建築事業者の
活性化につなげることに取り組む。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)